



NISHI EYE HOSPITAL

西眼科だより 第14巻2号

(季刊誌)

2012年5月発行

編集責任者：倉橋美雪

Nishi Eye Hospital

西眼科病院 〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 4-14-26 TEL: 06-6981-1132

〈ホームページ〉 <http://www.nishi-ganka.or.jp>

角膜クロスリンキング(CXL) (リボフラビン紫外線治療)

円錐角膜・角膜拡張症・角膜水疱症と診断された方に

角膜クロスリンキングとは、ドイツのザイラー教授らが開発した方法で、10年程前より世界各国で普及してきており、円錐角膜・角膜拡張症の進行を抑える方法です。

円錐角膜・角膜拡張症とも、一旦発症してしまうと薬剤などで進行を止めることはできません。これまでは「角膜移植」が唯一の治療法でした。しかしこの「角膜クロスリンキング」は角膜の実質の強度を高め、円錐角膜・角膜拡張症の進行を停止されることを目的とした新しい治療法です。

メガネやコンタクトレンズで日常生活に必要な視力が十分に得られている(角膜移植が必要となる前の)段階で、円錐角膜や角膜拡張症の進行を停止させることができれば、角膜移植を受けなくてもすむようになります可能性があります。また、角膜水疱症など水分の貯留したふやけた角膜は本来の透明さを保てず白濁していきます。このような病態に対しても、「角膜クロスリンキング」は白濁を減少させるという効果が報告されています。

手術方法は、点眼麻酔をした後、角膜上皮を円形に剥離します。次いでリボフラビン(ビタミン B2)を 10~20 分点眼し角膜に十分に浸透させ、 $30\text{mW}/\text{cm}^2$ の長波長紫外線を 3 分間照射します。これにより角膜実質のコラーゲン線維同士の結合が強まり、角膜実質中央部の脆弱性が改善し、円錐角膜・角膜拡張症の進行が抑えられると考えられています。最後に保護用ソフトコンタクトレンズを乗せて手術は終了です。

2012年現在、保険の適応は認められておりません。自費診療となります。詳しくは担当医またはスタッフまでご相談ください。

追加挿入型 多焦点眼内レンズ Add-On

既に白内障手術を受けられ、従来の単焦点眼内レンズを挿入されている眼に、さらにもう1枚 多焦点眼内レンズ Add-On(ドイツ製)を挿入し、遠方近方両方に焦点が合うようにできます。

術前術後の診察・検査・手術代(レンズ代含む) Add-On に関わる治療は全て自費診療となります。詳しくは担当医またはスタッフまでご相談ください。

角膜外来

ドライアイをはじめ角膜疾患の特別外来が6月(第2金曜日)よりスタートします。

ぶどう膜炎外来

第4水曜日(午後) 東京医科歯科大学眼科 望月 學 教授による [ぶどう膜炎外来] 診療を行っております。

ぶどう膜炎とは眼内における炎症性疾患すべてのことを「ぶどう膜炎=(最近では)内眼炎」と呼びます。最もよく現れる症状は霧視(かすみがかったように見える)と羞明感(まぶしく感じる)です。その他に視力低下、眼痛、充血、飛蚊症(虫が飛んでいるように見える)などの症状もみられます。PCRによる遺伝子レベルの原因検査も迅速にできるようになりました。原因に応じた、より適確な治療が可能です。原因不明な再燃を繰り返す[ぶどう膜炎]の患者さんがおられましたら御紹介ください。

屈折(近視・遠視・乱視)矯正手術 (LASIK) レーシック

《無料説明会》のお知らせ

ご興味のある方は、ご家族・ご友人をお誘いの上、ご参加ください。下記日程にて開催しております。

6月2日(土)・7月7日(土)・8月4日(土)

【午前11:00～(1時間程) 西眼科病院1F 飲み物(ドリンク)コーナーにて】